

---

## 06. 当院の透析患者と医療従事者における新型コロナワクチン接種後のIgG抗体価

○内田 瑞穂 (ウヂミズ)、武藤かおり、今枝 温子、菊地 勘  
医療法人社団豊済会 下落合クリニック

---

**【対象】** 当院の透析患者 119 人と医療従事者 35 人。

**【方法】** ファイザー社の新型コロナワクチンを 2 回接種後、Abott 社の SARS-CoV-2 IgG II Quant を用いて抗スパイク IgG 抗体価を経時的に測定。

**【結果】** 透析患者は男 76 人、女 43 人、年齢  $70.8 \pm 12.6$  歳、透析歴 67.5 か月 [四分位範囲 (IQR) 38.0-122.3]、糖尿病 42.7%。2 回接種 1 か月後 中央値 2,810 (IQR 1200-5299)、3 か月後 886 (IQR 189-1384)。

医療従事者は男 6 人、女 29 人、年齢  $40.5 \pm 10.9$  歳。2 回接種 1 か月後 中央値 10,062 (IQR 7390-16221)、3 か月後 2,406 (IQR 1640-3405)、6 か月後 963 (IQR 639-1315)。

**【考察】** 透析患者と医療従事者の IgG 抗体価は、透析患者が有意に低かった。これは透析患者の年齢が高齢こと、免疫能が低いことが原因と考えられた。透析患者と医療従事者とも、経時的に抗体価は減少しており、3 回目のブースター接種が必要と考えられた。(2021 年 12 月 6 日時点)